

学力向上に効果のある取組事例

中津市立沖代小学校

⑪ 小学校教科担任制の推進

取組の具体①

【教科担任制の概要】

- ①導入学年 5年・6年
(2026年度からは4年にも導入)
- ②専科教員が担当する教科 理科 家庭科
- ③学級担任間で交換授業を実施している
学年・教科
4年(国語、算数、社会、外国語)
5年(国語、算数、社会、外国語)
6年(国語、算数、社会、外国語)

組	担任	国語	社会	算数	理科	外国語	家庭科
1組	A教諭	A	B	C	専科	B	専科
2組	B教諭	A	B	C	専科	B	専科
3組	C教諭	A	B	C	専科	B	専科

【教科担任制を円滑に進めるための取組】

- ・授業中の児童の様子や配慮が必要な児童についての情報交換を頻繁に行う。
- ・移動教室時の移動ルール、準備物、提出物の出し方(どこに提出するか)を学年全体で統一し、児童の混乱を防ぐ。
- ・出張や行事を早めに把握して週単位で日課表の確認を行い、授業時数をそろえていく。(学年主任が行う)
- ・それぞれの教科での子どもの頑張りや成長を担当同士で共有する。
- ・学年部の情報交換だけでなく、5年部と6年部で教科担任についての情報交換を学期ごとに行う。(2026年度後期からは、教科部会を作り取り組む予定)
- ・年度初めに保護者会や学級通信で「なぜ教科担任制を行うのか(指導の専門性向上、複数目での見守りなど)」の目的とメリットを説明する。

取組の具体②

【授業の質を向上するために学校全体で行っている取組】

- ①誰もが主体的に学びに向かうことができるための授業改善
 - ・授業の流れを提示し見通しを持って授業参加できるようにする。
 - ・ペアやトリオ、グループ活動、ぶらぶらタイム(子どもが自由に動き、ヒントを得たり、教え合ったりする時間)を取り入れ、交流を学習活動に仕組む。
- ②「相手を大事にする話し方・聞き方」4つの約束の徹底
- ③授業と家庭学習の連動と基礎基本の習熟(授業の中で練習をする時間を確保。宿題で反復練習や既習問題の復習)
- ④年に3回、算数の基礎基本定着度の調査を行う。
- ⑤C層を支援する組織的な取り組みとして、朝の時間帯に低・中・高で曜日を分けて設定し、複数体制で基礎基本の習熟(沖代タイム)を図る。

